

航空機バルク燃料供給システムの訓練を実施 *Aerial Bulk Fuel Delivery System*

June 30, 2020

374th Airlift Wing Public Affairs

第374装備即応中隊の空兵はこのほど、C-130Jスーパーハーキュリーズに航空機バルク燃料供給システム(ABFD)を搭載し、三沢基地へ輸送した。※バルク(=バラ積み貨物室)

ABFDは、機敏な戦闘展開と多分野に対応できる空兵を育成する訓練の一環として使用され、日本にある空軍基地がインド太平洋地域の安全に欠かせない必要な技術を維持できるようにする。

訓練では、三沢基地第35戦闘航空団と横田基地第36空輸中隊のメンバーが協力し、厳しい環境下でもタンカーでない航空機が他の航空機に燃料を輸送できる航空機バルク燃料供給システムを使い、F-16ファイティングファルコンに給油を行った。

